

内視鏡検査室

1. 2006年度の目標および方針

- ・検査予約待ち期間の短縮(CL内視鏡室)
- ・会計漏れを防ぐ(病院内視鏡室)
- ・安心できる大腸前処置の環境を提供
- ・胃瘻キット交換マニュアル作成と交換受け入れルートの整備
- ・部署内の連携を強化
- ・学会、研究会の発表を8題以上

2. 2005年度内視鏡検査室の推進計画と実績

推進計画	実績
・検査及び治療件数の増加(5%増加) 目標件数24,550件	・延べ24,898件(約6.5%増) 目標達成
・大腸内視鏡検査の洗腸状態(前処置)本人チェックシートの内容見直し	・完了(実施済み) 目標達成
・長時間手術時の苦痛軽減	・低反発素材のマットや枕を作製(実施済み) 目標達成
・インシデント内部レビューの実施(目標 病院6回、CL6回、全体2回)	・病院3回、CL7回、全体2回 到達率86%
・検査前血圧測定の実施(自動血圧計で本人測定)目標70%以上	・受付で計測を口頭依頼(90%以上が実施) 目標達成
・胃瘻交換時のルート確と各機関への案内状作成	・胃瘻キット交換マニュアル 未作成 到達率0%
・スタッフ勉強会開催 18回	・スタッフ勉強会 16回(到達率89%)
・消化器ケア勉強会開催 6回	・消化器ケア勉強会 6回(目標達成)

3. 内視鏡検査室の業務紹介

1)業務紹介

主たる業務は消化器内視鏡診療における

内視鏡及び関連機器の管理、整備、操作補助並びに洗浄・消毒

受診者の看護と診療の介助

検査スケジュールの作成

消化器センターの受付及び資料の管理保存など

4. 年間活動内容と実績

1)病院内視鏡室

上部消化管内視鏡：2,287件(治療内視鏡：542件)、大腸内視鏡：977件(治療内視鏡：812件)、胆・膵内視鏡検査および治療：434件、超音波内視鏡216件、気管支内視鏡：328件

2)クリニック内視鏡室

外来 上部消化管内視鏡：6,847件

大腸内視鏡：3,601件

人間ドック 上部消化管内視鏡：5,541件

大腸内視鏡： 3,313 件
計：24,898 件

5 . 勉強会の開催

1)消化器ケアカンファレンス

小腸内視鏡検査(ダブルバルーン法)
大腸癌の化学療法
インターベンショナル・ラジオロジーの基本
大腸ポリープ(診断と治療)
食道癌の化学療法
潰瘍性大腸炎

2)スタッフ勉強会

超音波内視鏡
消化性潰瘍とその治療薬
手作り WATER-JET の有用性
内視鏡検査における顧客満足とリスクマネジメント
ブスコパンについて
上部消化管出血(技師の観点から)
一方向性ディスポ洗浄ブラシの効果
切開剥離術における手作りウォータージェットの使用経験
エラー分析(SHELL モデル)
カルテからの内視鏡画像印刷方法と注意点
便秘について
糞線虫について
整理上手は生き方上手
血圧について
内視鏡的異物摘出術
超音波内視鏡マニュアル説明会

6 . 学術関係

1)学会・研究会発表

網仲幸司：『切開剥離術における手作りウォータージェットの使用経験』 第 1 回千葉県消化器内視鏡技師研究会 2005/8/27
斉藤進一：『一方向性ディスポ洗浄ブラシの効果』 第 1 回千葉県消化器内視鏡技師研究会 2005/8/27
松本雄三：『内視鏡的胃瘻造設術における内視鏡スタッフの役割』 第 1 回千葉県消化器内視鏡技師研究会 2005/8/27
松本雄三：『VTA を用いた PEG 交換出血事例の検討』 第 10 回 HEQ 研究会 2005/9/24
内藤幹雄：『ISO を中心とした情報管理』 第 23 回関東消化器内視鏡技師研究会 2005/11/26

2)関連学会・研究会・講習会への参加

- ・ 第 54 回日本消化器内視鏡技師研究会 2005/5/28
- ・ 第 8 回関東消化器内視鏡技師レベルアップ講習会 2005/6/5
- ・ 第 1 回千葉県消化器内視鏡技師研究会 2005/8/27
- ・ 第 10 回 HEQ 研究会 2005/9/24
- ・ 第 55 回日本消化器内視鏡技師研究会 2005/10/8
- ・ 第 23 回関東消化器内視鏡技師研究会 2005/11/26

3)論文

松本雄三：『経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)における内視鏡技師の役割』消化器ケア(日総研出版)

内藤幹雄：『ISO を中心とした情報管理』消化器ケア(日総研出版)

文責：富永和宏